［認知症対応型共同生活介護用］

1． 評 価 結 果 概 要 表

作成日　平成19年9月10日

【評価実施概要】

事業所番号	３７７０１０２７４１
法人名	社会福祉法人守里会
事業所名	グループホーム邑
所在地	香川県高松市前田西町字長渕１０８０－１８ （電　話）087－847－1150

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成19年7月10日	評価決定日	平成19年9月10日

【情報提供票より】（ 19年　4月　1日事業所記入）

（1）組織概要

開設年月日	昭和・平成（平成に丸）　16年　1月　15日	
ユニット数	2ユニット	利用定員数計　18人
職員数	8人	常勤　7人、 非常勤　1人、 常勤換算　7．5人

（2）建物概要

建物構造	鉄筋造り 3階建ての2階～3階部分

（3）利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃（平均月額）	30,000円	その他の経費（月額）	8,000円＋実費
敷　　金	有（　　　　　円）	無（丸）	
保証金の有無 （入居一時金含む）	有（　　　　　円） 無（丸）	有りの場合 償却の有無	有／無
食材料費	朝食　　　円	昼食　　　円	
	夕食　　　円	おやつ　　　円	
	または1日当たり　1,000円		

（4）利用者の概要（ 4月　1日現在）

利用者人数	18名	男性　2名	女性　16名
要介護1	4名	要介護2	6名
要介護3	0名	要介護4	5名
要介護5	2名	要支援2	名
年齢	平均　83．8歳	最低　62歳	最高　97歳

（5）協力医療機関

協力医療機関名	香川県済生会病院

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、ゆったりとした生活リズムやペースを大切に、自分らしく一日を過ごしている家庭的なグループホームである。利用者は、できることを見つけたり、できたことの達成感など、その人らしい役割を日々の暮らしの中で活かしている。食事は、献立を決めたり、食材の買い出し、食事作りなどを一緒に行い、共有した楽しい時間を過ごしている。また、玄関は、日中鍵をかけないケアを実践しているが、外出しようとした場合は一緒に行動し、安全にも配慮している。

管理者や職員は、理念の「ゆっくり待つ介護」を心がけ、利用者のできること、見守ること、支援することを実践している。また、地域交流のため、週1回、陶芸教室を行っており、今後の更なる取り組みに期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①

前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況（関連項目：外部4）

前回までの外部評価で、改善項目となっている「運営理念を文書化して見やすい所に掲示する」という課題が未解決である。事業者側の「掲示は家庭的な雰囲気を壊すので、言葉で直接伝えるようにしている」との考えもあるが、職員間で理念について話し合い、確認することが大切である。また、外部評価を実施する意義や活用方法を理解し、評価での提案を真摯に受け止め、サービスの質の確保に活かすことが望まれる。

今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）

管理者、職員が自己評価について相談しながら、取り組んでいきたい課題を抽出している。これから実践につなげていこうとする姿勢がうかがえる。

重点項目②

運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6）

運営推進会議を2か月に1回開催しているが、現在の参加者以外にも、民生委員や婦人会等で活躍している人たちの参加依頼が望まれ、また、固定したメンバーの参加が望まれる。また、会議での意見を、サービス向上に向けて活かした取り組みが期待される。

重点項目③

家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）

毎月、利用者の健康状態や暮らしぶりを、職員のコメントや写真と一緒に送り報告している。面会時などに、家族の意見や要望・苦情などを聴いている。また、それを共有して運営に反映している。

重点項目④

日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）

地域の運動会や敬老会に招待されたり、自治会の掃除に参加する等、地域との関係作りに努めているが、グループホームの行事にも地域の方々に参加をしていただき、少しずつ地域との連携やつながりを深めていきたいと取り組んでいる。

2.　評価結果（詳細）

（ 　部分は重点項目です　）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（〇印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅰ．理念に基づく運営					
1．理念と共有					
1	1	〇地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくり待つ介護」を理念とし、家庭を意識し、その人らしく暮らせる生活を支えることを大切にしているが、地域密着型サービスとしての役割も加味した理念が求められる。	〇	地域との関係が重視されるようになり、状況の変化に応じた独自の理念の具体化が望まれる。
2	2	〇理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、勉強会などで理念を共有し、実践に向けて取り組んでいる。しかし、理念の明示は、申し送りノートの表紙に記入しているのみとなっている。		
2．地域との支えあい					
3	5	〇地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運動会や敬老会に招待されたり、自治会の掃除に参加する等、地域との交流をしているが、まだ交流が深まるまでには至っていない。	〇	認知症の相談会は現在していないが、週1回の陶芸教室を行っている。地域の人に、気軽にグループホームに立ち寄ってもらえるような交流の取り組みを、継続して実施することを期待したい。
3．理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	〇評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価・自己評価について勉強会をしているが、評価を活かした具体的な改善の取り組みに至っていない面も見られる。	〇	数年、同じ項目が外部評価の改善課題となっているが、再度評価を実施する意義や活用方法を理解し、評価を形式的な作業に終わらせることなく、サービスの質の確保に活かすことが望まれる。
5	8	〇運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一度の開催で、利用者やサービスについて意見交換をしている。	〇	現在のメンバー以外にも、民生委員や婦人会、自治会等にも依頼して、地域を意識し、役割を持った人たちの参加した運営推進会議にしていくことを期待したい。

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外には、事業所から市町担当者に知ってもらい、理解してもらうための交流の機会がほとんどない。	○	グループホームの実情やサービスについて伝えたり、情報を共有し、気軽に行き来し、相談できる関係づくりを期待したい。
4．理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭出納等を、職員のコメントや写真と一緒に送り、報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時に声をかけ、意見や苦情、不満などを、気軽に話せる雰囲気づくりをしている。また、家族から得られた情報は、職員間で話し合い、共有して、運営に反映できるようにしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員間で利用者への影響を防ぐ配慮をしているが、グループホームを含めた併設事業所全体の利用者を知り、馴染みの関係であって欲しいという事業所の方針で、職員異動が比較的多い。	○	当ホームは、職員の育成や利用者に対する馴染みの支援等を考慮した職員配置を行っているが、あまり頻繁な職員異動は、利用者や家族等が不安になる部分でもある。利用者や家族と職員の馴染みの関係が大きな意味を持つグループホームでは、職員の異動を最小限に抑える配慮が求められると思われるので、今後の努力や工夫を期待したい。
5．人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外で研修を受けているが、職員の研修計画では、経験に応じた、段階的な研修計画の取り組みをするまでには至っていない。	○	経験に応じた段階的な研修計画や、実践をしながらのトレーニング等、職員の質向上と職員育成の取り組みに期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流が少ない。	○	同業者との交流や連携を積極的に行い、勉強会や情報交換を行って視野を広げ、サービスの質向上に役立てる取り組みに期待したい。

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（〇印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が納得せず、サービス利用をする場合もあるが、安心して利用できるように、写真などで雰囲気を伝えたり、見学などを行っている。		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、生活の知恵や調理を共にして、作り方や味付けなどを教わっている。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1．一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活や一人ひとりの会話から、本人の思いや希望等を察したり、職員間で話し合いを持って、把握に努めている。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	月に一度ケアカンファレンスを行ったり、本人や家族等と話し合い、意見を介護計画に取り入れている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しや状態の変化など、その時に応じて、関係者と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（〇印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
３．多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	〇事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	指定を受けたサービスはないが、本人や家族の状況、要望等に応じた支援をしている。		
４．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	〇かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に、かかりつけ医について、嘱託医と家族が話し合いをしている。2週間に一度、嘱託医と連携を取り、情報を共有し、必要時は適切な医療が受けられるように支援している。		
19	47	〇重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族と話し合いを持って、希望に添えるようにしている。また、1名看取りの経験がある。	〇	当ホームは、本人や家族と話し合いを持って、希望に添えるようにしており、話し合いでの看取りの指針を作成しているので、今後は、重度や終末期の利用者を支えるために、事業所で対応が可能なことや困難なこと、不安なこと等を職員全体で話し合い、本人や家族、医療関係者等との連携体制や職員の力量などを考慮した事業所としての方針づくりに期待したい。
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 １．その人らしい暮らしの支援 （1）一人ひとりの尊重					
20	50	〇プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は日々の関わりの中で、一人ひとりの尊厳を大切にし、言葉かけや態度等の対応に配慮しているが、一部利用者への呼び方等に気になる点がみられた。	〇	前もって、利用者本人がどう呼ばれたいかを聞いている場合は、本人の希望に添った呼び方でよいと思うが、利用者は人生の先輩であるという考えや、常に、利用者本人や家族の視点に立って適切な呼び方を考えることを職員が共有することが大切であると思われる。当ホームは、言葉かけや態度等は、研修等で改善の努力をしており、対応に配慮しているが、利用者の呼び方については再度、検討していただきたい。
21	52	〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活ペースやリズムを大切にし、その日の希望に添って、その人らしい暮らしができる支援をしている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
（2）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを取り入れ、一緒に献立を考えたり、食材の買い出し、食事の準備、片付けなど、それぞれのできる役割やペースに配慮しながら、食事を楽しい共有時間にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は特に限定せず、一人ひとりの希望にあわせたりしているが、職員の言葉のかけ方の工夫やタイミング等で、入浴を楽しむことのできる支援になるようにしている。		
（3）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	それぞれの役割を作り、できる範囲の支援をしているが、新しくできることを見つけたり、楽しみごとを増やすために、陶芸教室の利用を考えている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所の公園の散歩で季節を感じたり、食材の買い出し、その日の利用者の希望等を取り入れ、外出支援をしている。		
（4）安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関には鍵をかけないケアの実践をしている。外に出て行こうとしたら一緒に行動し、安全面の取り組みもしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署と共に、防火訓練や避難訓練をしているが、地域の人々の参加や協力が得られるような働きかけまでには至っていない。	○	災害には地域の人たちの助けが必要なため、運営推進会議等で意見の具体化をしていけるように働きかけている。今後、地域との連携を取り入れた災害対策の見直しを期待したい。

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（〇印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
（5）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	健康状態とあわせて、個人の食事摂取量や水分量等を記録し、一人ひとりの状態を職員間で把握した支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり （1）居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は、利用者にとって不快な音や光がないように、会話やテレビの音量に気をつけ、カーテンで光の調節をしている。利用者は居心地よく過ごせ、自由に使用している。	○	共用空間に使用していない物が置かれている場所があるので、整理整頓し、ソファーやテレビ等を置けば、くつろげる居場所がもう一つできると思われる。せっかくの場所を無駄にせず、利用することを期待したい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	小物や家具など、使い慣れた物を置き、自分の好みに合わせた居室にしている。		